

個人投資家様向け会社説明会

濱田 宏一

アンリツ株式会社
代表取締役 社長 グループCEO

2022年12月13日



目次

1. アンリツのご紹介
2. 事業のご紹介
3. 中期経営計画
4. 気候変動への取り組み
5. 株主様還元

1-1. 会社概要



アンリツ株式会社

〒243-8555

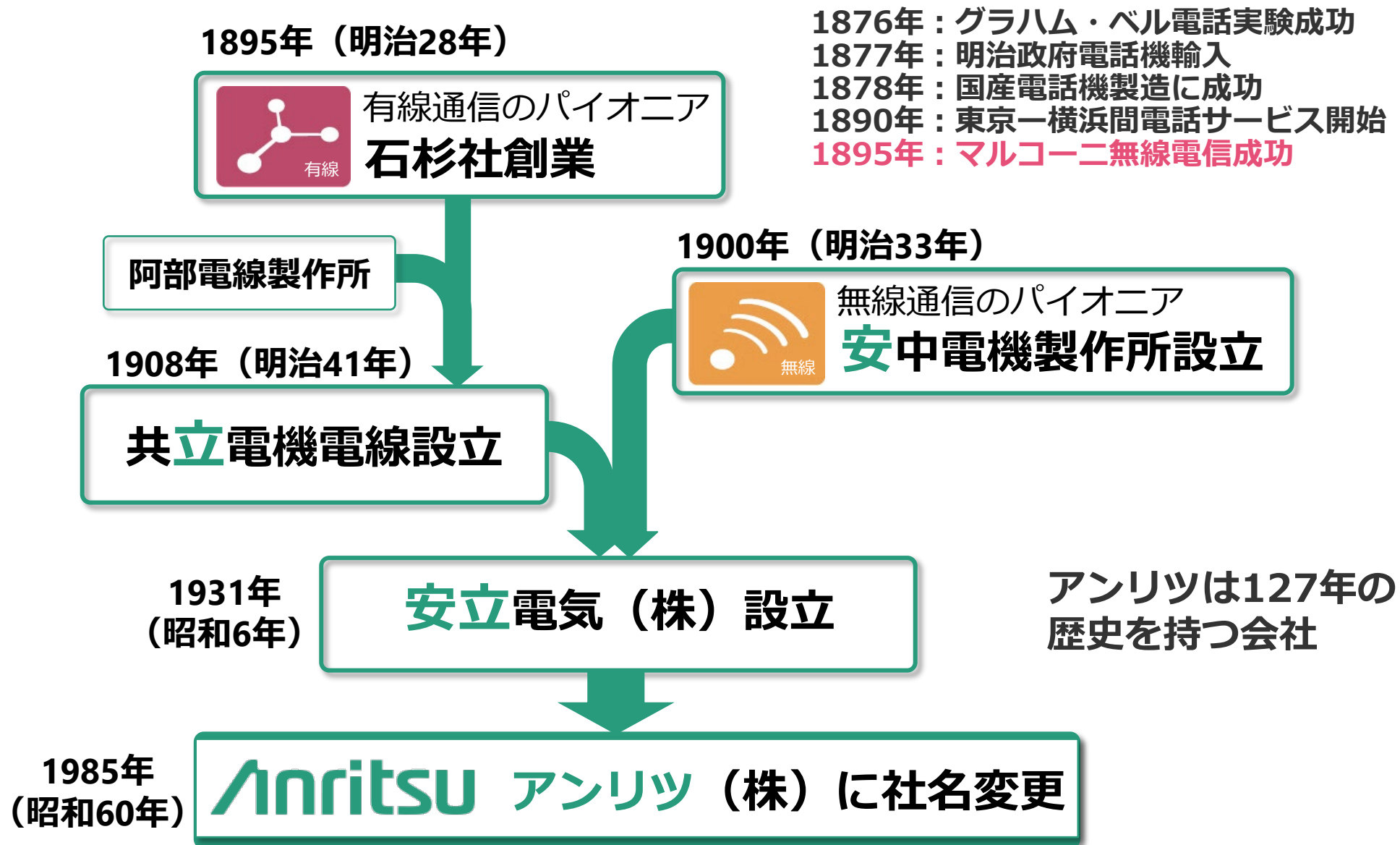
神奈川県厚木市恩名5-1-1

Tel : 046 -223 -1111 (代表番号)

<https://www.anritsu.com>

- 創業 (石杉社) せきさんしゃ : 1895年 (明治28年)
- 資本金 : 191億89百万円 (2022年3月31日現在)
- 売上高 : 1053億87百万円 (2022年3月期 連結)
- 従業員数 : 4,168名 (連結) (2022年3月31日現在)
1,758名 (単独) (2022年3月31日現在)

1-2. 社名の由来



1-3. アンリツはこんな会社です

1895年の創業という長い歴史をもつ会社

- 常に情報通信の最先端技術を追い求めるパイオニアとして、挑戦の道を歩む

そして、今は

- コアコンピタンスである「はかる」技術をベースに、通信分野と食品分野を中心に支えている

社会課題貢献の歴史

通信の実用化

- 1908：後の公衆電話機となる自動電話機を量産
- 1914：世界に先駆けて無線電話機を実用化
- 1924：国産初のラジオ放送聴取用受信機製作
- 1933：国産初のテレビジョン放送機製作

通信インフラの整備、食品の大量生産

- 1950：TV放送向け各種測定器の開発・製造
- 1956：公衆電話機の開発・製造
- 1964：食品用重量選別機の開発・製造

光・デジタル通信の高速化、食品の安全・安心

- 1981：業界初の光パルス試験器の開発・製造
食品用金属検出機の開発・製造
- 2000：高速データ通信用測定器の開発・製造
食品用X線異物検出機の開発・製造

モバイル通信の進化・発展

- 2001：業界初の3G用測定器の開発・製造
- 2010：業界初の4G用測定器の開発・製造
- 2018：業界初の5G用測定器の開発・製造



1-4. アンリツの2つの柱の事業

通信分野

IoT/5Gが拓く通信の発展に貢献

通信用計測器

スマホメーカーで活躍！

- ・スマホなどの端末の動作確認
- ・アプリの開発
- ・バッテリーの寿命試験



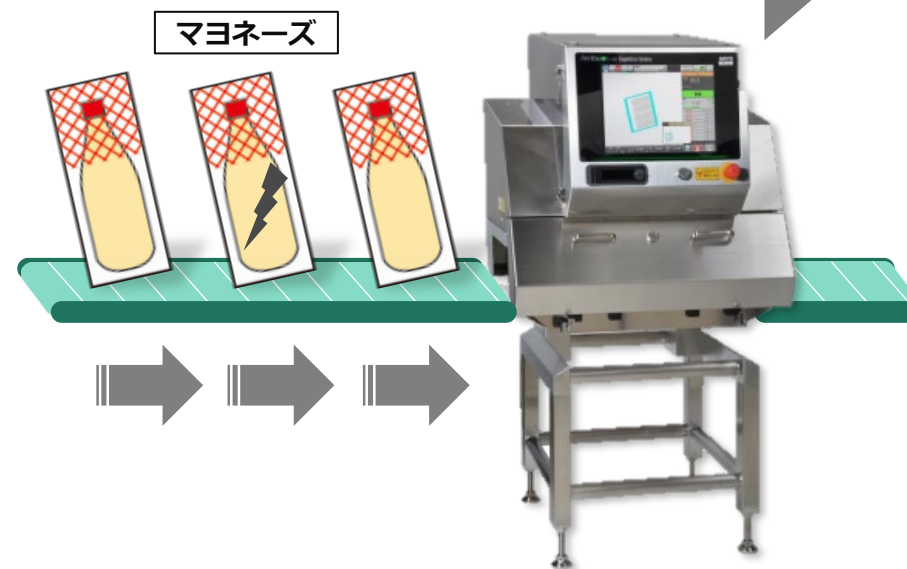
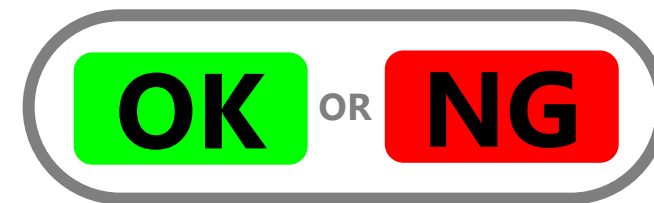
食品分野

食の安全安心に貢献

X線異物検出器

食品の生産ラインで活躍！

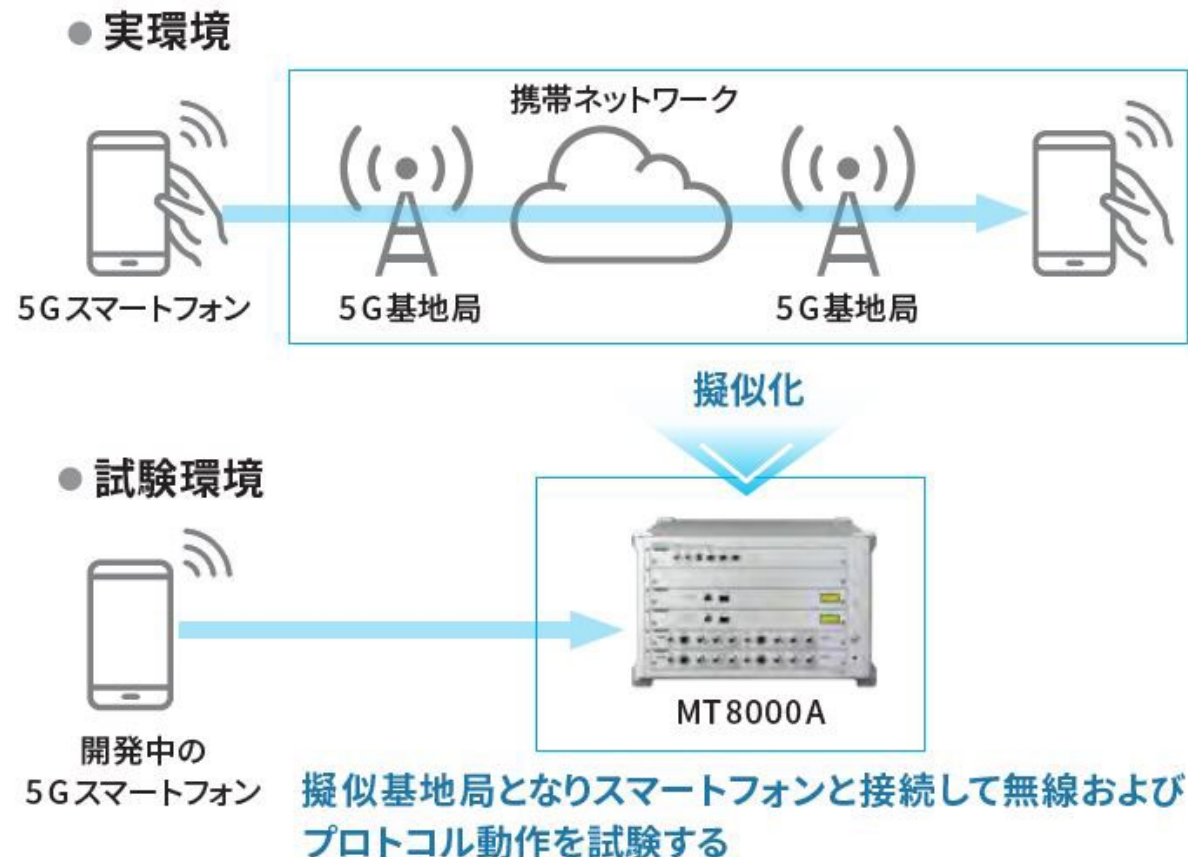
- ・異物混入検査
- ・形状検査
- ・欠品検査



たとえば、スマホの開発で使われる**通信用計測器**をつくっています。

開発中のスマホは、実環境の基地局（携帯ネットワーク）に接続することはできません。

アンリツの通信用計測器は、擬似的な基地局（携帯ネットワーク）となり、お客様は開発中のスマホの各種試験を行います。



たとえば、食品の生産ラインで使われる**異物検出機**をつくっています。

※PQA : Products Quality Assurance

異物混入を防ぎ、検査品の数量不足や形状不良の検査も行います。



鶏肉の残骨検査



異物検査

食品などに含まれる石やプラスチック、残骨などを検出します。



欠品検査

お弁当のおかずの欠品がないか検査します。

欠品

1-7. 事業内容

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場：5G、5G利活用
- ▶ ネットワーク・インフラ市場：データセンター、光NW、無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場：基地局建設保守、電子部品、無線設備



PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



PQA : Products Quality Assurance

その他の事業

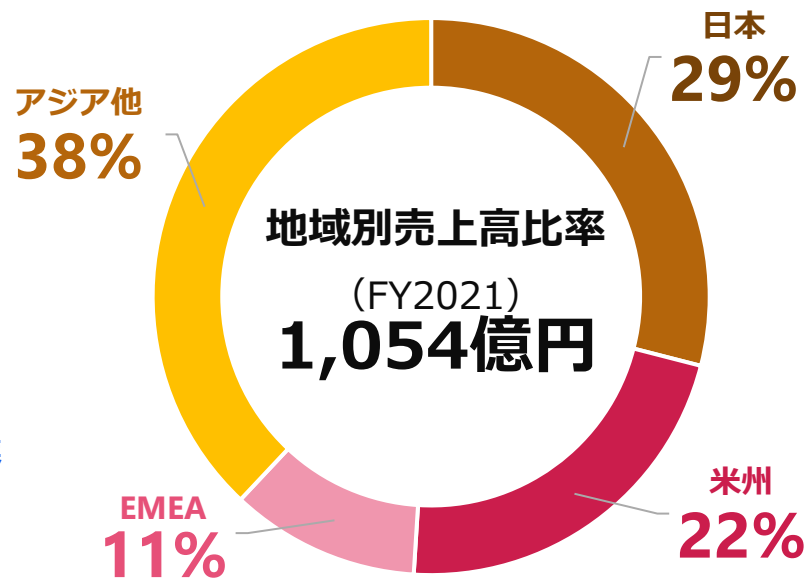
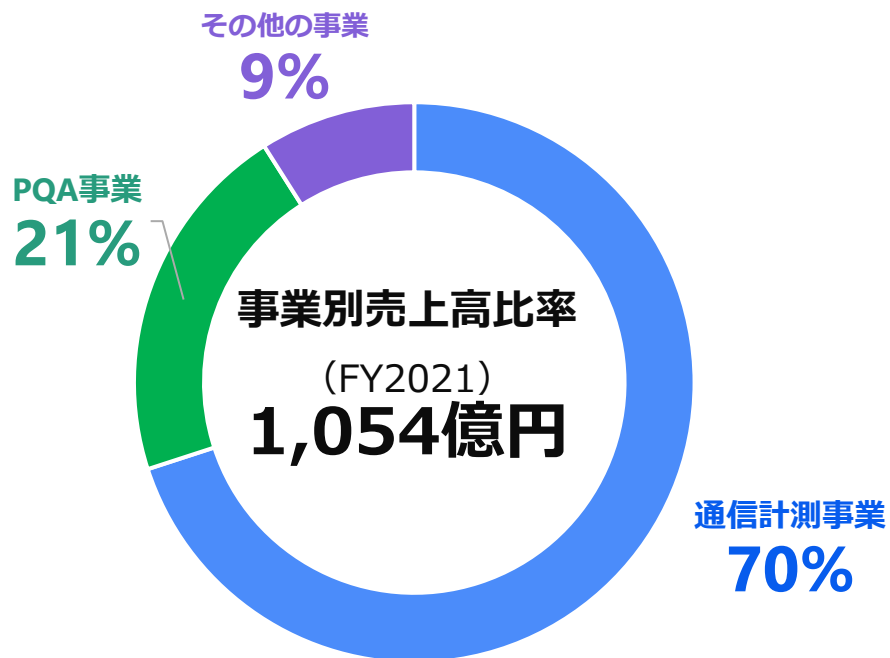
環境計測事業

- ▶ ダム、河川等のモニタリング
- ▶ ローカル5G
- ▶ EV・電池測定



センシング&デバイス事業

- ▶ 産業/医療用光センシング
- ▶ 通信用光デバイス



* EMEA : 欧州・中近東・アフリカ

先端技術研究所

- ▶ 6Gに向けた研究開発
- ▶ 次世代技術の獲得

1-8. グローバル展開

EMEA*

従業員数

341名

子会社数 **14**社



Anritsu EMEA Ltd. (英国)

日本

従業員数

2,506名

子会社数 **10**社



Anritsu Company (米国)

米州

従業員数

632名

子会社数 **8**社



アンリツ株式会社 (日本)

アジア他

従業員数

689名

子会社数 **13**社

連結従業員数

4,168名

子会社数

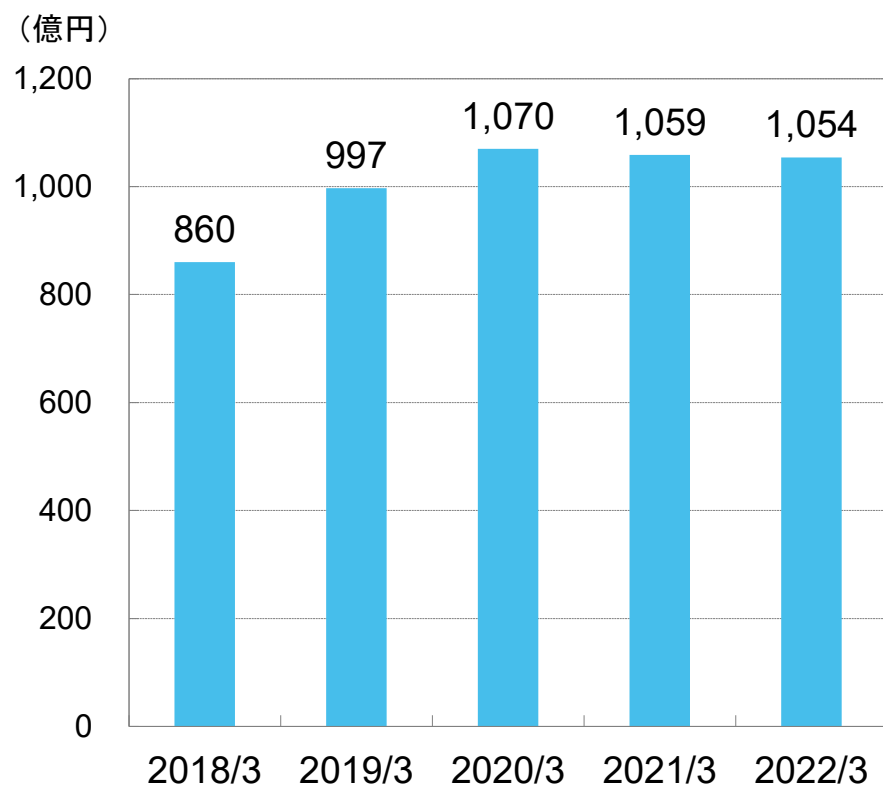
45社

(2022年3月31日現在)

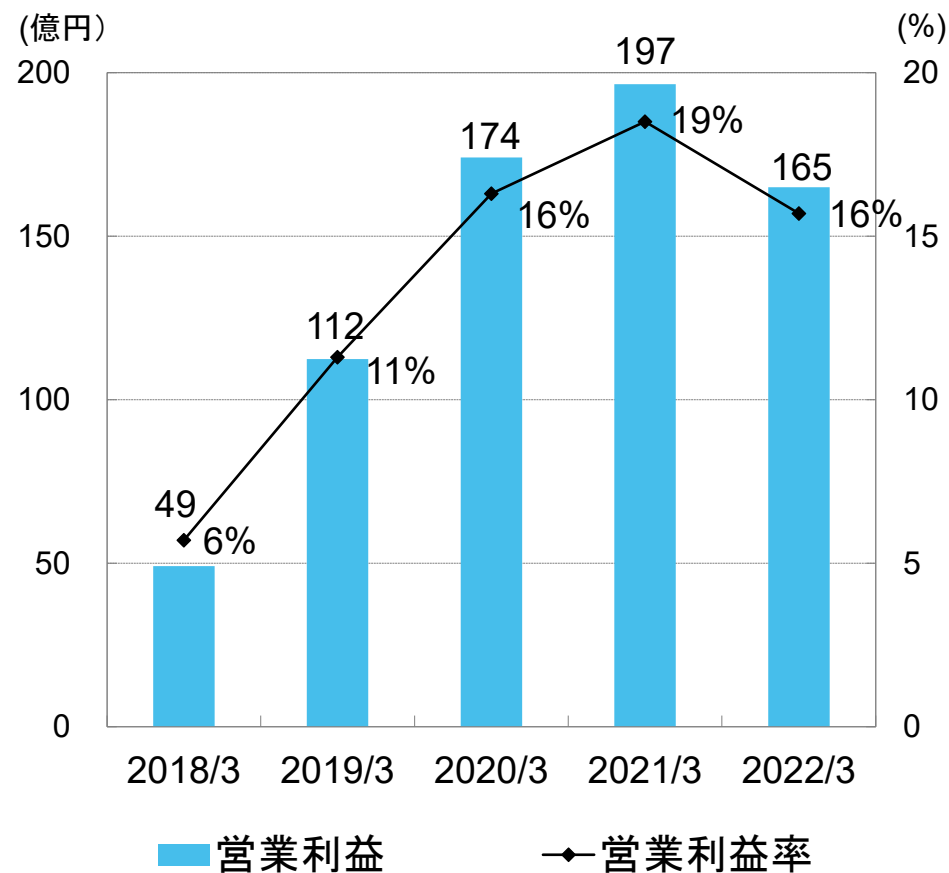
* EMEA : 欧州、中近東、アフリカ

1-9. 業績について

売上収益



営業利益、営業利益率



2. 事業のご紹介

- 通信計測事業
- PQA事業

2-1. 事業内容の紹介

～通信計測事業～

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展



- ▶ モバイル市場：5G、5G利活用
- ▶ ネットワーク・インフラ市場：データセンター、光NW、無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場：基地局建設保守、電子部品、無線設備

PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



PQA : Products Quality Assurance

その他の事業

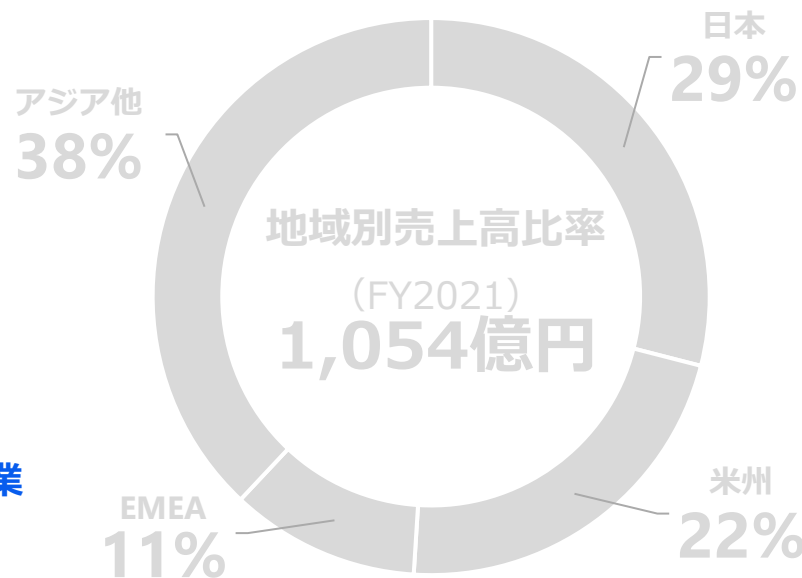
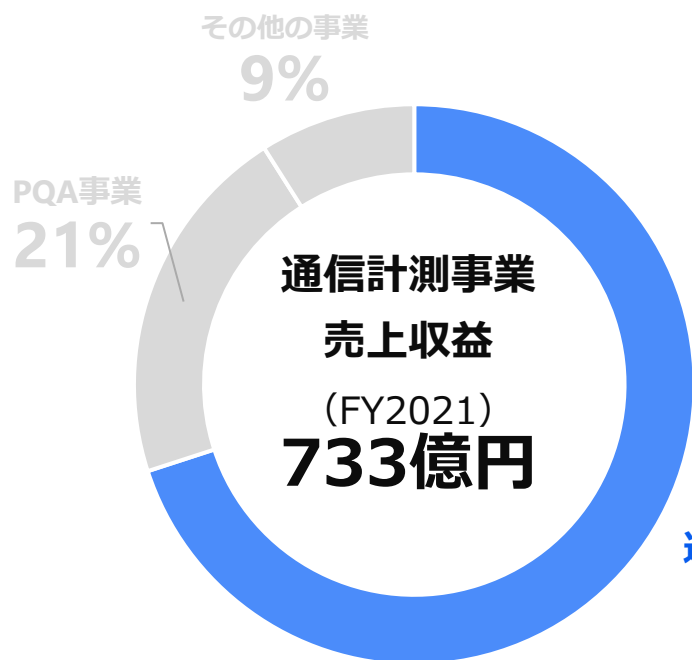
環境計測事業

- ▶ ダム、河川等のモニタリング
- ▶ ローカル5G
- ▶ EV・電池測定



センシング&デバイス事業

- ▶ 産業/医療用光センシング
- ▶ 通信用光デバイス



* EMEA : 欧州・中近東・アフリカ

先端技術研究所

- ▶ 6Gに向けた研究開発
- ▶ 次世代技術の獲得

2-2. 通信計測事業の製品・ソリューション

情報通信ネットワークを支える



光ファイバーの工事・点検に

コアネットワーク



メトロネットワーク



ネットワークの
モニタリングに



クラウド、データセンタの
高速化・効率化に



基地局の建設・保守に



モバイルフロントホール/バックホール



電子部品などの開発/生産に

オートモーティブ試験に



スマホ、
通信デバイスの開発に



2-3. 通信計測業界の特徴とアンリツの強み

通信計測業界の特徴

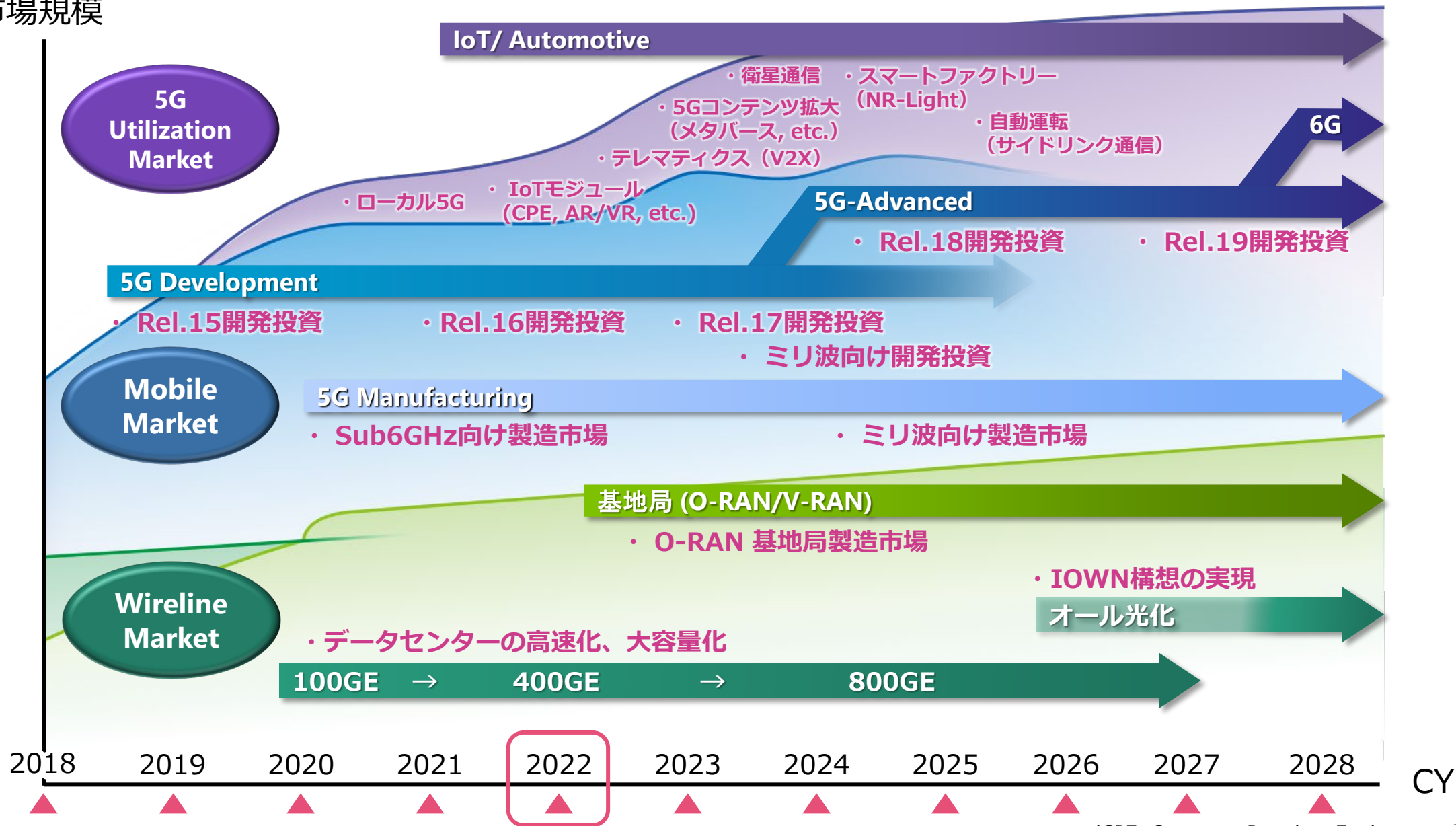
- 変化が激しい通信業界への素早い適応力が求められる
- 技術的な参入障壁が高く、限られた主要プレイヤーによる競争
- 主な競合企業は世界に2社
キーサイト・テクノロジー（米）
ローデ・アンド・シュワルツ（独）

アンリツの強み

- 高い技術力
 - 高度な技術の蓄積
 - 有線・無線双方の技術保有
 - キーデバイスを自社開発
- グローバルなキープレイヤーとの信頼関係
- グローバルな開発・販売・サポート体制

2-4. 通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模



(CPE: Customer Premises Equipment、顧客構内設備)

2-5. 事業内容紹介

～PQA事業～

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展



- ▶ モバイル市場：5G、5G利活用
- ▶ ネットワーク・インフラ市場：データセンター、光NW、無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場：基地局建設保守、電子部品、無線設備

PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



PQA : Products Quality Assurance

その他の事業

環境計測事業



- ダム、河川等のモニタリング
- ローカル5G
- EV・電池測定

センシング&デバイス事業

- 産業/医療用光センシング
- 通信用光デバイス



先端技術研究所

- ▶ 6Gに向けた研究開発
- ▶ 次世代技術の獲得

その他の事業
9%

PQA事業
21%

PQA事業売上収益
(FY2021)
220億円

計測事業
70%

アジア他
38%

地域別売上高比率
(FY2021)
1,054億円

日本
29%

EMEA
11%

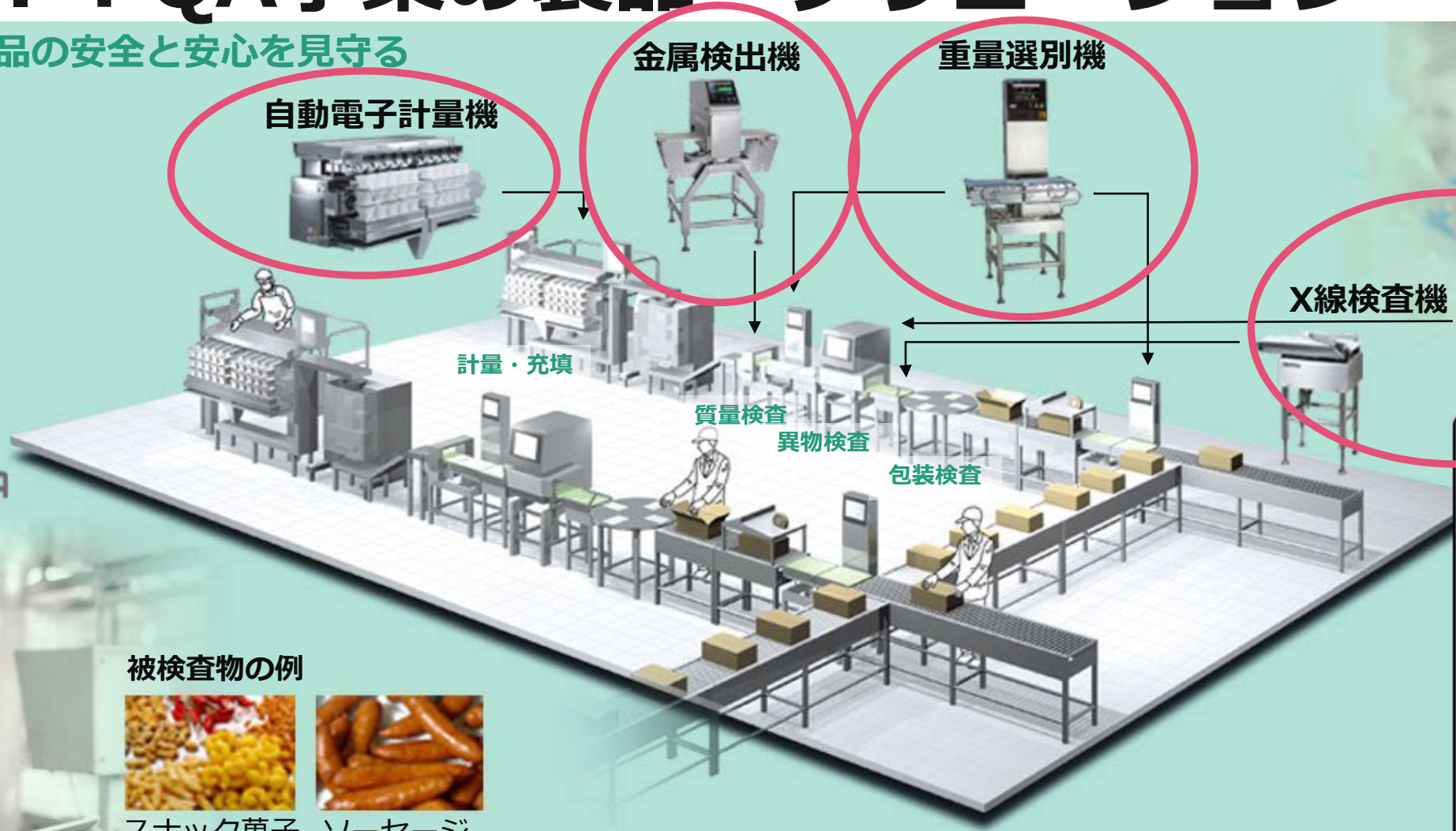
米州
22%

* EMEA : 欧州・中近東・アフリカ

2-6. PQA事業の製品・ソリューション

食品・医薬品の安全と安心を見守る

総合品質管理・
制御システム
QUICCA



被検査物の例



スナック菓子



ソーセージ



肉



カット野菜

異物の例

-  ガラス、プラスチック片など
-  硬質ゴム (パッキンなど)
-  石片
-  骨、貝殻

2-7. 食品検査業界の特徴とアンリツの強み

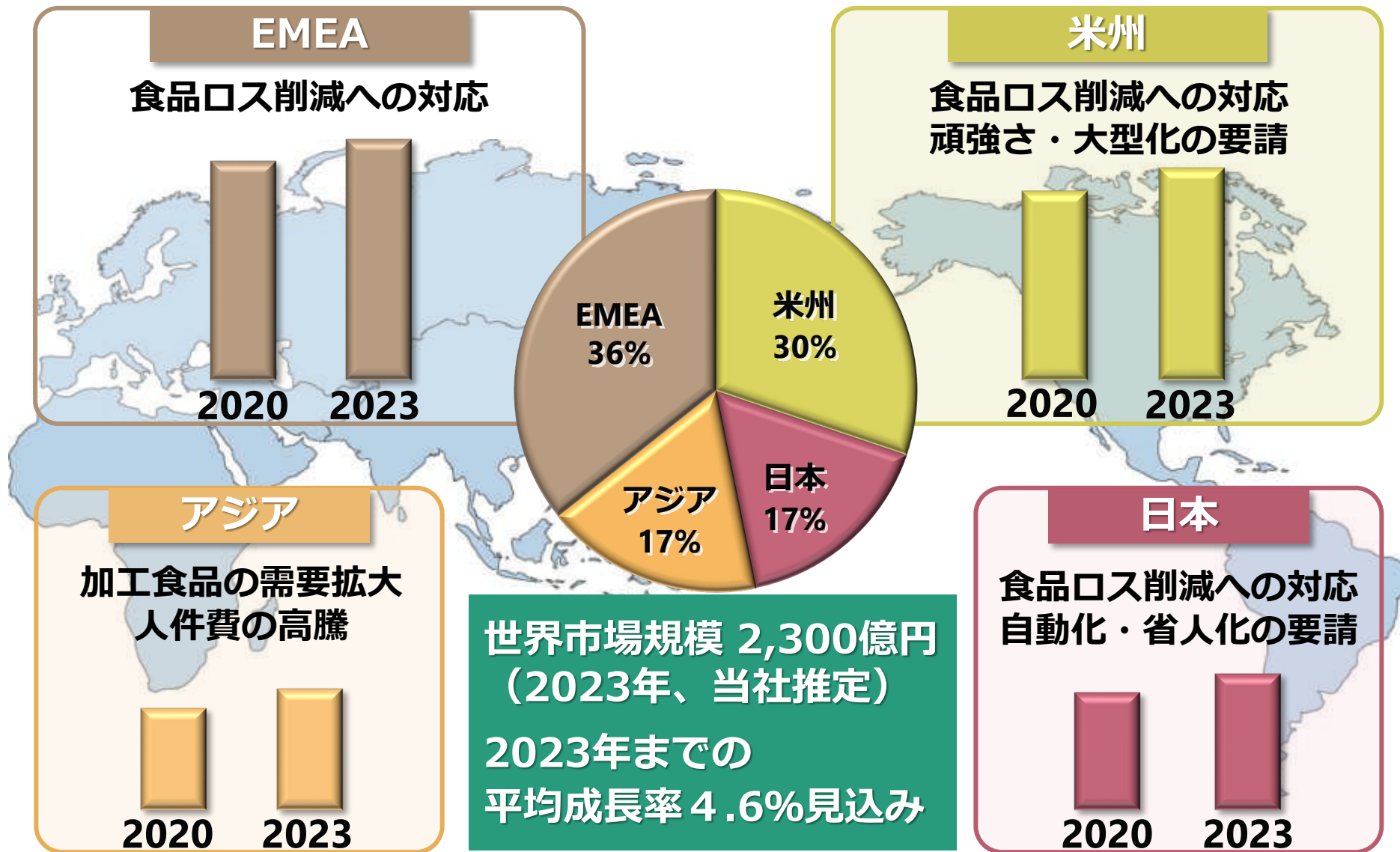
食品検査業界の特徴

- 世界的な食の安全安心への要求の高まり
- 食品生産ラインの自動化・省人化
- 競合企業は、イシダ社（日）とメトラ・トレド社（スイス）、その他地域ごとに多数

アンリツの強み

- 高速・高精度な品質検査技術
- 充実した保守体制
- 国内の食品検査市場でのトップクラスの市場地位

2-8. 食品検査市場の現状と見通し

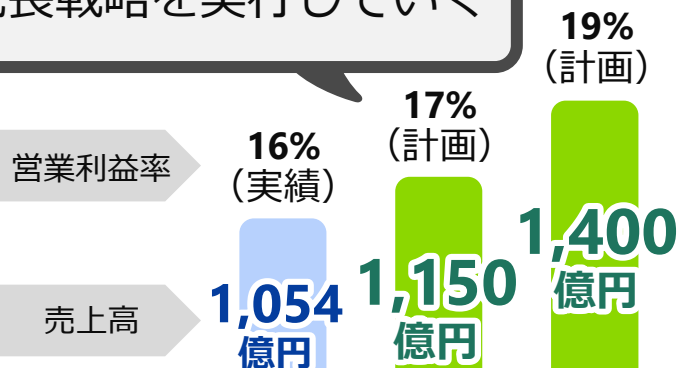


3. 中期経営計画

3-1. FY2030の目指す姿

「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。

着実に成長戦略を実行していく



GLP2023

5Gピークに向けて
成長の3年

新たな芽を
成長させる3年

2020VISION

利益ある
持続的成長

強い財務体質
を作った10年

FY2030

4つのカンパニーと
研究所の成長により
安定した収益をあげる企業

売上高 **2,000** 億円

営業利益率 20%

3-2. GLP2023中期経営計画

指標		FY2020実績	FY2021実績	FY2022計画 ※2	FY2023計画 ※1
売上高		1,059 億円	1,054 億円	1,150 億円	1,400 億円
営業利益		197 億円	165 億円	190 億円	270 億円
営業利益率		19 %	16 %	17 %	19 %
当期利益		161 億円	128億円	140億円	200 億円
ROE		16 %	11%	12%	15 %
通信計測事業	売上高	748 億円	733 億円	780 億円	1,000 億円
	営業利益	177 億円	152 億円	175 億円	230 億円
	営業利益率	24 %	21 %	22 %	23 %
PQA事業	売上高	214 億円	220 億円	240 億円	270 億円
	営業利益	13 億円	12億円	13 億円	27 億円
	営業利益率	6 %	5 %	5 %	10 %

(※) FY2022の計画：2022年10月28日に修正を発表しております。

連結営業利益を190億円から175億円に、連結営業利益率を17%から15%に、

通信計測事業営業利益を175億円から160億円に、通信計測事業営業利益率22%から21%に変更。

※1 GLP2023想定時為替レート：1米ドル=105円、1ユーロ=125円

※2 FY2022計画策定時為替レート：1米ドル=120円、1ユーロ=135円

3-3. GLP2023重点分野

2022年度に実施予定

2021年度に実行

通信計測の
拡大加速

クラウド

自動車

5G

5G利活用

食品

▲ AK Radio Design
5G LABの開設
AK Radio Design社

通信計測
カンパニー

ローカル5G

NEC
ネットエスアイ
と業務提携

インフィビス
カンパニー

アンリツ
グループ

環境計測
カンパニー

モニタリング

戦略的コーポレート
強い“ものづくり”

医療・医薬品

高砂製作所

高砂製作所
2022年1月4日
M&A完了

光センシング

センシング
& デバイス
カンパニー

先端技術
研究所

EV、電池

グラフェンのナノスケール
微細加工技術を確立

新市場開拓
利益率改善

光

6G

NEMS

*EV: Electric Vehicle

*NEMS: Nano Electro Mechanical Systems

*インフィビスカンパニー：PQA事業の推進

4. 気候変動への取り組み

4-1. 気候変動への取り組み

2050年カーボンニュートラルに向かって、当社は2030年頃までに太陽光の自家発電比率を30%程度まで高めることに取り組んでいます。

2020年度：米国カリフォルニア州の工場に1,100 kWの太陽光発電設備を導入

2022年度：福島県郡山市の工場に太陽光発電設備と蓄電設備を導入

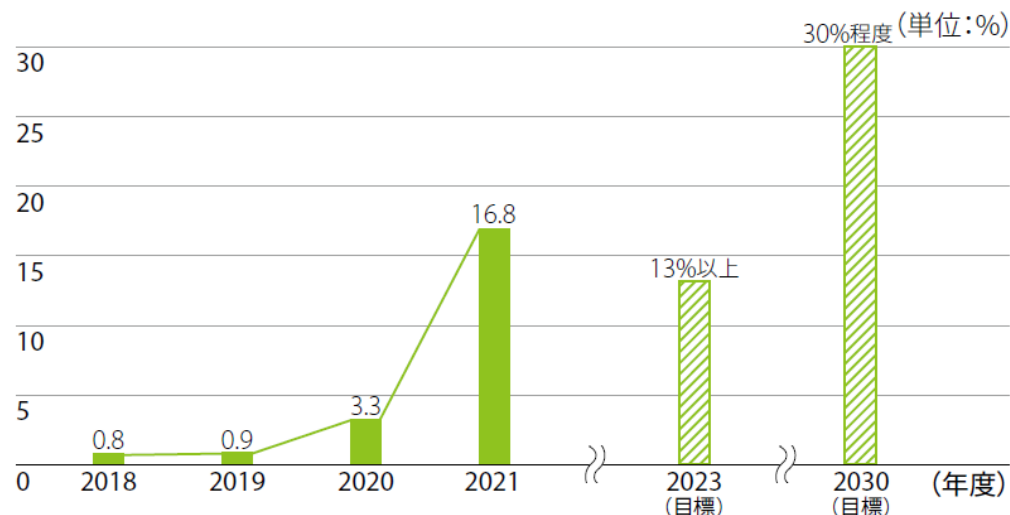


太陽光自家発電量と自家消費量

(単位：MWh)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
太陽光自家発電量	233	241	246	892	4,476
太陽光自家消費量	218	225	239	891	4,475

PGRE30: 太陽光自家発電比率

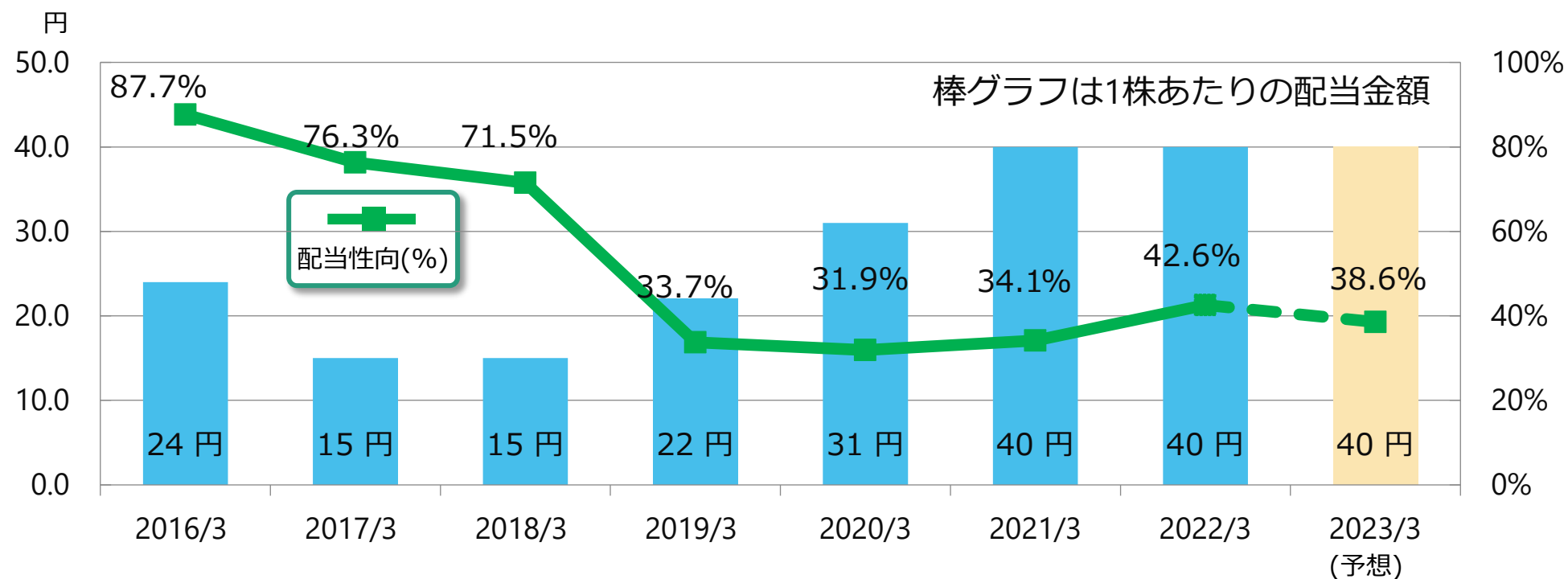


5. 株主様還元について

5-1. 配当について

	年間配当	当期利益	配当性向	ROE
2022年3月期	40円	128億円	42.6%	11.5%
2023年3月期	40円	140億円	38.6%	12%

※2022年3月期 総還元性向：81.3%（配当54億円、自己株50億円）



Anritsu
Advancing beyond

